

第5回

めざせ！本のお医者さん
(図書資料の装備・修理)

本の傷みの原因、本の修理の心得、やっつけられない修理について学びました。
装備の基本的な『押す』『貼る』『覆う』の3つの作業の内、『覆う』の作業を体験しました。

装備(ブッカーがけ)に挑戦

図書館の資料には透明のフィルムが貼られています。このフィルムをブッカーといいます。
ブッカーを貼ると、資料を傷みや汚れ、紫外線から守ることができ、抗菌効果や表紙の除菌・消毒を可能にします。



思った以上にむずかしい！



うまくいかないときは協力し合って作業します

第6回

本の楽しさを伝えよう
(選書業務、書評作成)

図書館にふさわしい本を、計画的に「選書」し購入を進めていくために、日ごろから新刊本などの知識を深めておきます。

ポップづくりに挑戦

選書した本をたくさんの人に読んでもらうために、本を紹介するのも司書の仕事のひとつです。

「この本を読みたい」

「続きが気になる」

と思わせるようなポップができれば大成功！



何色の画用紙にしようかな？
材料選びも真剣です

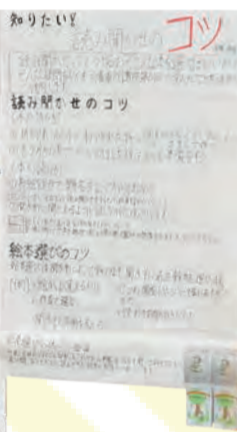


素敵なポップが完成しました！

第7回

成果発表 認定式 認定状授与

これまでの講座で学んだことを発表した19人の『子ども司書』。立派に成長した姿を見せてくれました。今後の活躍に、乞うご期待！



読み聞かせのコツや絵本選びのコツをわかりやすく一枚のポスターにまとめ、大人顔負けのプレゼンテーションを披露！



大勢の前でも堂々と発表



認定状とバッジをもらって達成感



19人の子ども司書が誕生

子ども司書の声



北村奈穂子さん
(きたむらなほこ)

ポップづくりでは、パッと目につくようにデザインしたり、面白いという言葉を使わずに面白いと感じさせるために内容を少し紹介するなど工夫しました。最初に立てた「本の楽しさを伝える」という目標を達成できたと思います。



中桐 亜虹さん
(なかぎりあこ)

読み聞かせでは、聞く人を意識して大きな声でゆっくり読むこと、ちゃんと見えるように本をしっかり持つことに気を付けました。長い本でちゃんと読めるか不安でしたが、読み終わった後に拍手をもらってよかったです。



瀬沼千尋さん
(せぬまちはろ)

レファレンスサービスとは、本の情報を調べたり、本を探している人に伝えたりすることです。ブッカーがけは難しかったけど、やっているうちにできるようになりました。読み聞かせは緊張しましたが、楽しかったです。

「子供の読書活動の推進等に関する調査研究報告書」のデータによれば、読みたい本の選択と本を読むきっかけとして、同年代の友達の影響が大きいことが報告されています。身近にいる友達が読書に親しんでいれば、自分も本を読んでみたくなり、読む友達の輪が広がっていくと思われます。

子どもの読書活動を推進するためには、**子ども同士の力を活かす**ことがより効果的です。本市では継続して「子ども司書養成講座」を開催する予定です。今後「子ども司書」として認定された子ども達が増えて、子ども達の読書の輪が広がることを期待しています。